



Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて！～

薬学部の現状

受験シーズンを迎えた現在、交通機関はコロナ禍を機に遅延しやすくなったように感じますので、移動の際はお気を付けください。

さて、姫路獨協大学が2025年春から薬学部の募集を停止するのと同様に、福島の医療創生大学(旧いわき明星大学)も26年に募集を停止することを発表しました。一方、24年には順天堂大学と国際医療福祉大学成田キャンパスで薬学部新規募集があり、薬学部の募集はさまざまな様相を見せています。

薬学部の志願者が減少傾向であることに加え、24年度の国家試験ストレート合格率は私立大学全体で57.1%と良い数字ではありません。そもそも薬学部数47部が80部にまで増えると1大学当たりの志願者が減るわけで、芋づる式に偏差値が下がるのは想定内でした。しかし、卒業後に国家試験があるということで、勉強慣れしていない学生が入学してくると、苦労してしまうわけです。

また、最近は韓国籍の学生が増えてきました。韓国では薬剤師の社会的地位が国会議員に次ぐといえます。そして、韓国の受験競争は熾烈であり、日本の薬学部に比べて定員が10分の1です。そのため、「日本では薬学部に入りやすい」として入学するといい、最近では韓国人枠を設ける大学もあります。日本の薬剤師も視野を広げて活躍の場を拡大し、社会に貢献することで存在感と地位を上げていきましょう。